

## 新型コロナウイルス感染症予防接種を受ける前に必ずお読みください。

### 1. 新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症は、コロナウイルスに感染することによって発症します。

新型コロナウイルス感染症の主な症状は、発熱、咽頭痛、咳などで、かかっても無症状や軽症の場合もあります。基礎疾患のある場合は、重症化のリスクがあるとされています。

### 2. 新型コロナウイルス感染症予防接種の効果と被接種者の責務

予防接種には、発症予防や重症化（入院）予防の効果があることが国内外で認められています。また、予防接種による追加の発症予防効果が得られることも確認されています。

しかし、この予防接種は、個人予防目的のために行うものであるため、自らの意思と責任で接種を希望する場合に接種を行います。

### 3. 新型コロナウイルス感染症予防接種の副反応

接種後に接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱など様々な症状が確認されていますが、ほとんどが軽度または中程度であり、安全性に重大な懸念は認められていません。

また重篤な副反応として、アナフィラキシー症状（じんましん、呼吸困難、血管浮腫など）があります。この症状のほとんどは接種後30分以内に生じます。

その他、血栓症、心筋炎、心膜炎、熱性けいれんが現れる等の報告があります。

### 4. 予防接種を受ける前に

#### (1) 一般的注意

新型コロナウイルス感染症の予防接種について、必要性、効果、副反応についてよく理解しましょう。気にかかることがあれば、予防接種を受ける前に担当の医師や看護師に相談してください。十分に納得できない場合には、接種を受けないでください。

#### (2) 予防接種を受けることが適当ではない方

- ①接種当日、明らかな発熱のある方。明らかな発熱とは、通常37.5℃以上を指し、検温は、接種を行う医療機関（施設）で行います。
- ②重篤な急性疾患にかかっている方。「重篤かつ急性」の疾患にかかっている場合には、病気の進展状況が不明であり、このような状態において予防接種はできません。
- ③予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーなど重度の過敏症(※)の既往歴のある方。  
※過敏症…全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等
- ④その他、予防接種を行うことが不適當な状態にある方。

### (3) 予防接種を受ける際に注意が必要な方

- ①心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方。
- ②予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方、全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を起こしたことがある方。
- ③過去にけいれんの既往のある方。
- ④過去に免疫不全の診断がされている方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方。
- ⑤予防接種の接種液の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方。
- ⑥抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害を有する方。

### (4) 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ①予防接種後24時間は副反応の出現に注意してください。特に、接種直後の30分以内は急激な健康状態の変化に注意してください。
- ②接種後は、接種部位を清潔に保ち、接種当日は過激な運動を避けてください。なお、予防接種当日の入浴は差し支えありません。
- ③接種後、接種局所の異常反応や体調の変化を訴える場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

## 5. その他

### (1) 予防接種を受けない場合

接種医の説明を十分聞いた上で、ご本人が接種を希望しない場合、家族やかかりつけ医の協力を得てもご本人の意思の確認ができなかったため接種をしなかった場合、当日の身体状況等により接種をしなかった場合等においては、その後、新型コロナウイルス感染症に罹患、あるいは罹患したことによる重症化、死亡が発生しても、担当した医師に責任を求めることはできません。

### (2) 副反応が起こった場合

予防接種の後、まれに副反応が起こることがあります。また、予防接種と同時に、ほかの病気が偶発的に重なって現れることがあります。

予防接種後数日の間に胸痛、息切れ、ぐったりするなどの症状があった場合は医療機関を受診してください。

その他、分からないことがある場合は、西郷村健康推進課保健係（電話 0248-25-1115）へお問い合わせください。